

2014年10月 キューバ情勢

I 概況

1 内政

(1) 日・キューバ交流400周年記念代表団がキューバを訪問した。

(2) フィデル前議長が自身の論説の中で、ニューヨーク・タイムズをほぼ全文引用し、また、別の論説において、エボラ出血熱対策において米国と協力する意志を示した。

(2) 閣僚評議会が開催された。

2 外交

(1) エボラ出血熱に関する ALBA 特別首脳会合が開催ハバナにて開催された。

(2) 国連総会にて、「米国の対キューバ経済制裁終了の必要性」決議が採択された。

II 内政

1 日・キューバ交流400周年記念代表団のキューバ訪問

(1) 1日から5日まで、古屋日・キューバ友好議連会長を団長とする日・キューバ交流400周年記念代表団がキューバを訪問した。

(2) 2日、記念代表団の一員としてキューバを訪問した近藤会長等日・キューバ経済懇話会一行は、キューバ側経済懇話会との間で第13回両国経済懇話会合同会議を開催し、3日、両経済懇話会の間でプロトコール・サインが行われた。

(3) 2日午後、支倉常長像前で400周年記念式典が実施された。冒頭、古屋会長、レアル・ハバナ歴史事務所長が挨拶し、続いて、若生宮城県副知事、小山川崎町長、加藤仙台育英学園理事長がそれぞれ支倉像に対し献花を行い、最後に、仙台育英学園生徒による太鼓演奏が披露された。

(4) 3日午後、マルティ劇場にて記念音楽公演が実施された。第1部は、OSK日本歌劇団によるダンス・歌が披露され、第2部では、日本人音楽家4名がそれぞれ太鼓、ギター、クラリネット及びピアノ演奏を披露し、キューバ人音楽家との共演も行った。

2 フィデル前議長の論説の発表

(1) 14日付当地紙グランマに「我々が決して忘れ得ないこと」と題するフィデル・カストロ前国家評議会議長執筆の論説が掲載された。同記事では、オバマ大統領は対キューバ経済制裁を終わらせ、関係正常化に動くべき旨主張すると共に、政府への批判をも含むニューヨーク・タイムズ紙の記事がほぼ全文引用された。

(2) 18日付当地紙グランマに「義務を果たすとき」と題するフィデル・カストロ前国家評議会議長執筆の論説が掲載された。同論説の中でフィデル前議長は、エボラ出血熱対策において米国と協力する意志を示した。

3 閣僚評議会の開催

24日、閣僚評議会が開催され、投資機会リスト、企業所有権の保護、農業従事者に対する金融措置、国営不動産の登記状況等につき協議した。

III 外交

1 エボラ出血熱被害国へのキューバ人医療関係者の派遣

1日、エボラ出血熱対策のため、165名のキューバ人医療関係者がシエラレオネに派遣され、21日、53名のキューバ人医療関係者がリベリアに、38名がギニアに派遣された。

2 ベラスケス教育大臣のベネズエラ訪問

ベラスケス教育大臣はベネズエラを訪問し、7日、現地で活動するキューバ人教育関係者と会合を行った。

3 ベトナム建設大臣のキューバ訪問

Trinh Dinh Dung ベトナム建設大臣がキューバを訪問し、7日から15日にかけて開催された第32回経済科学技術協力のための政府間委員会の共同議長を務めた。キューバ側は、マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣が共同議長を務めた。

4 北朝鮮との協定の締結

17日、キューバと北朝鮮の間で、貿易に関する協定、貿易支払いに関する協定及び商品の受け渡し的一般条件に関する議定書が署名された。

5 化学兵器禁止機関事務局長のキューバ訪問

キューバを訪問したウズムジュ化学兵器禁止機関(OPCW)事務局長は、20日にハバナ大学で講演を行い、21日にディアスカネル国家評議会第一副議長と会談を行った。

6 エボラ出血熱に関する ALBA 特別首脳会合の開催

20日、ハバナにて、エボラ出血熱に関する ALBA 特別首脳会合が開催され、首脳宣言が採択された。

7 ベナン外相のキューバ訪問

20日から22日にかけて、Nassirou Bako-Arifari ベナン外務大臣がキューバを公式訪問し、ロドリゲス外相と会談を行った。

8 「米国の対キューバ経済制裁終了の必要性」決議の採択

28日、国連総会本会議において「米国の対キューバ経済制裁終了の必要性」に関する決議案が賛成188、反対2（米国及びイスラエル）、棄権3（パラオ共和国、マーシャル諸島及びミクロネシア連邦）にてほぼ全会一致で採決された（ロドリゲス外相が出席し演説）。

9 ラテンアメリカ・カリブ経済委員会事務局長のキューバ訪問

バルセナス・ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（CEPAL）事務局長がキューバを実務訪問し、28日午後、ラウル国家評議会議長と会談を行った。

10 エボラ出血熱に関する技術会合の開催

29日から30日にかけて、ハバナにてエボラ出血熱に関する技術会合が開催され、米国を含む米州諸国及び国際機関の代表が参加した。

11 Swire 英外務副大臣のキューバ訪問

29日より、Hugo Swire 英外務副大臣が英国の閣僚級としておよそ10年ぶりにキューバ訪問を公式訪問し、カブリサス閣僚評議会副議長と会談を行うなどした。

12 ベラスケス教育大臣のペルー訪問

ペルーを訪問したベラスケス教育大臣は、リマにて30日及び31日開催された「ラテンアメリカ・カリブ全人民のための教育」と題された閣僚級会合に出席した。

13 要人来訪

- (1) 古屋日・キューバ友好議連会長
- (2) 阿部日・キューバ有効議連副会長
- (3) Trinh Dinh Dung ベトナム建設大臣
- (4) Nassirou Bako-Arifari ベナン外務大臣
- (5) バルセナス CEPAL 事務局長
- (6) Swire 英外務副大臣

14 要人往訪

- (1) ベラスケス教育大臣のベネズエラ訪問
- (2) ロドリゲス外相の米国（NY）訪問
- (3) ベラスケス教育大臣のペルー訪問